

会員とセンターをつなぐ広報誌

# 生きがい王子

第114号 2021年 夏号

編集・発行



公益社団法人  
八王子市シルバー人材センター

〒192-0062 八王子市大横町 11-35

TEL 042(626)1274

FAX 042(626)5159

✉ hachioji-sc@sjc.ne.jp

H.P. <https://hachioji-sjc.org>

八王子市シルバー人材センター

検索



提供：村山明寛会員

## 本号掲載ページ

- 2P 名誉会長・新会長のご挨拶
- 3P 新三役のご挨拶
- 4P 新理事のご挨拶
- 5P 新監事のご挨拶
- 6P 新常任委員会の紹介
- 7P 会員だより①
- 8P 会員だより②他





第十一回定時社員総会が八王子市芸術文化会館大ホールにて開催されました。今年度も新型コロナウイルス禍の為、昨年と同様に会員の皆様には、委任状等を提出して頂き理事監事の出席で行われました。



八王子市長  
八王子市シルバー人材センター名誉会長

石森 孝志 たかゆき

八王子市シルバー人材センター会員の皆様におかれましては、日頃より「広報はちおうじ」の配布を始めとする多くの事業に御協力賜り、誠にありがとうございます。本市には65歳以上の高齢者が約15万人いらっしゃいます。かつては、高齢化とは支える人が減り、支えられる人が増えていく「脅威」という考え方が一般的でありました。しかし、健康寿命が延伸し、人生100年時代といわれるように、人は誰もが年齢にとられず、いきいきと活躍できる可能性を持っています。貴センターとともにその可能性を活かせる地域を作っていくことが、「希望に満ちた高齢社会」を迎える鍵になると強く信じています。昨年度、貴センターでは就労環境の改善に積極的に取り組み、特に派遣事業の実績増加率は都内第一位を獲得されました。高齢者がいきいきと活躍できる環境づく



八王子市シルバー人材センター会長

園部 正範

第十一回定時社員総会後の臨時理事会で推薦を受け会長に就任しました。

現在八王子市では65歳以上の人口は全体の約30%、70歳以上の人口は5人に一人を超える約22%の超高齢社会となっております。この中でシルバー人材センターは、シルバー世代の人に就業を通して生きがいのある人生が送れるよう手助けをするという重要な役割が求められ期待されています。

また、女性の時代と言われて久しくなりますが、シルバー人材センターでも女性会員を増やすとともに女性向けの就業機会も増やすべく皆様の力を結集して行きたいと思えます。大勢の未就業の会員がいるのに対し、せつか

りへの御尽力に、心から敬意と感謝の意を表します。

さて、本市の新型コロナウイルスのワクチンの接種も順調に進んでおり、少しずつ就労の機会が戻ってきたと感じる会員の方も多いと思われまます。希望は見えてきました。感染者数を見れば未だ予断を許さない状況が続いております。引き続き、感染対策をしっかりととりながら従事していただきたいと存じます。

皆様が自分らしく楽しんで活躍されている姿は、他の高齢者や、これから高齢を迎えられる多くの方々に勇気付けてくださっています。医療従事者への「八王子エール便」、そして「エールカード」についても、医療従事者からの御礼の声が届いており、改めて、人から人へ心を届ける大切なお仕事を担っていただいていることを実感しました。これからも、八王子に笑顔と希望を届ける皆様の御活躍を、大いに期待しております。

結びに、貴センターの益々の御発展と、会員の皆様のご健勝並びにご多幸を心から祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。

多くの顧客の依頼作業に対応する会員が見つからないというミスマッチが生じています。勿論希望する就業形態を探し出す努力は必要ですが、幾分毛嫌いされる就業にも一度トライする勇気を出してみてください。やってみるとそこに案外仕事の面白さとやりがいを感じられるかもしれません。地域に貢献するボランティア活動も重要です。コロナ禍で一年以上活動もままなりませんがこの暗雲が晴れた時には、大勢の会員がボランティア活動に参加するようお願いいたします。

新型コロナウイルス感染対策も昨年一月から一年半経ちました。この暗く長いトンネルもワクチン接種でようやく明るい光が射して来たと専門家の医学博士が言っています。でも収束まではまだ年はかかりそうです。皆様感染対策を注意深く続けてください。

さて、二年間の任期を会員の皆様の協力とご支援・ご忠告でこの重責を務め上げたいと思えます。

決議事項4議案

第1号議案

「令和2年度計算書類等の承認の件」

第2号議案

「理事17名選任の件」

第3号議案

「監事2名選任の件」

第4号議案

「定款の一部改正の件」



新四役

右から、  
西山女性活躍推進担当理事  
伊比常務理事  
園部会長  
馬場副会長

常務理事

伊比 洋司

(特43)

6月16日定時社員総会・理事会で常務理事に選任をいただきました。伊比(イビ)と申します。よろしくお願ひいたします。

二千六百人を超える会員の皆様が、安全に安心して担当業務及びセンター活動に取り組んでいただけますよう、業務執行担当理事として全力で職務に取り組んでいく所存でございます。しかしながら、新任でありますので最初は詳しく説明をお願いしたり、理解するのに時間がかかったり、多々お手数を重ねる事があるかと思ひます。一日も早く、皆様の相談・問合せに対し、しっかりとした対応が取れるよう、知識・実務の習得に努めてまいりますので、よろしくお願ひ致します。

こちらの前は、観光コンベンション協会に二年、その前は市の職員として勤務をしておりました。昨年は、皆様もご承知のとおり、日本の観光産業は「コロナ」で大きな痛

女性活躍推進担当理事 西山 正子

(7613)

二期目を迎える理事として、今の新型コロナ時代の社会情勢を思つて見ても厳しい対処を考えなければなりません。今の社会情勢からすると、昔の良きことを思い出し活動する、新しい時代に似合ったアイデアの募集等、今が一つのチャンスなのかもしれません。シルバー人材センターのやり方にしても、理事会の在り方にもです。

二千六百人の会員がいる中、今後どうすれば良いか、折角女性代表として与えられた役職ですから頑張らなくてはなりません。女性だから出来るという何かをつかみ、女性会員に協力をして頂き、職種を探すことも、新しい生きがいの班を見つけることも、それらを立ち上げて前進

手を受け、八王子もその例外ではなく、高尾山から来訪者が消え、市内のイベントもほとんどが中止という中で、忍耐の一年を過ごしてまいりました。実は、次はこちらでというお話をいただいた時、内心では、少し「ほっと」していたのですが、センターの本年度予算や昨年度の決算状況を確認させていただく中で、改めて日本全体が厳しい状況であった事を認識し、自身の甘さを深く反省しております。ですが、将来について、見通しは明るいと考えています。ワクチン接種が進むことにより、確実に社会は活力を取り戻してくると考えますし、仕事の進め方が変わると言われていますが、私達の主に担当している臨時的・短期的な仕事については、他の方法にそう簡単には置き換えられないと考えています。

「コロナウイルス感染症の終息はもうすぐそこ」に出口が見えていると思ひますので、それまで引き続き感染予防に最大限取り組みながら、アフター「コロナ」への対応に努めてまいります。

していかねばなりません。さてできるでしょうか、応援お願ひします。

副会長

馬場 秀一

(9734)

6月16日に開催された定時社員総会後の臨時理事会で副会長に選任されました。

平成25年市より刊行されました「くらしの便利帳」でシルバー人材センターを初めて知り、即入会し現在に至ります。

今は、自分が副会長という重責を務められるかと自信も何もありませんが、誰でもが健康で明るいセンターになりますよう尽力致します。



左から、杉浦理事（新）、設楽理事、浅原理事、石黒理事、伊比常務理事（新）、廣永理事（新）、馬場副会長、須崎理事、園部会長、小林理事、西山女性活躍推進担当理事、国里理事、内藤理事（新）、谷津理事（新）、中島監事（新）、出居監事（新）、黒田理事（新）、二村理事（新）、加藤理事（新）



北部地区理事

谷津 富高

(10523)

「広報はちおうじ」の配布が7年目、放課後子ども教室安全管理員が6年目になりました。地域の方々のふれあいと、新1年生が6年生になりその成長ぶりに目を見張る感動の日々を過ごしています。

高齢者がこのような就業機会に恵まれたのは、シルバー人材センターあってのことと感謝しております。

この度、理事に選任されました機会に、一人でも多くの会員の皆様が価値ある就業機会に恵まれるよう、創意工夫、組織の改善、改良に努めてまいります。何よりも、会員の皆様のご意見、ご提案が貴重な指針となります。何卒宜しくお願い致します。

西部地区理事

一村 重和

(9182)

西部地区理事に選任いただき

大変恐縮しております。

私は、平成二十四年に入会しまして、広報配布、放課後子ども教室、西部地区班長他担当させて頂いたとき、いろいろな方々との出会いもあり貴重な経験となりました。

気が付いてみたらいつの間にか後期高齢者の仲間入りをしていました。人生の良い時期に幸せな年を送っていきたくと願い、後期高齢者ならぬ「好期幸福者」であり続けたいと思う今日この頃であります。

シルバー人材センターの益々の発展を祈念し、簡単でございますがご挨拶とさせていただきます。

西部地区理事

加藤 司

(9309)

この度、6月16日に開催されました定時社員総会で理事に選任され、その責任の重さに身の引き締まる思いであります。

私は、シルバー会員の皆様と共に、与えられた職務を全うする所存であります。どうぞよろしくお願い致します。

西南部地区理事

内藤 国暁

(8837)

第十一回定時社員総会にて理事に承認していただきました。これから二年間、皆様と共に頑

張って参ります。どうぞ宜しく  
お願い致します。

地域班では、組織・地区活動  
にも興味関心を持って頂くよう  
努めて参りましたが、いまだ十  
分と言えません。引き続き会員  
との対話を重ね、地区会議等  
により会員間の繋がりを図って参  
ります。

またここで得られた意見・要  
望等は、迅速・的確に処理し適  
時伝えて行くよう努めて参りま  
す。

様々な会員のいる中、残念な  
がら仕事の依頼以外は興味の無  
い方も居られます。少しでも関  
心を持って頂くよう、改めて理  
念に沿った活動を推進しつつ、  
健康に留意し皆様と共により良  
いSCにして行くよう努力して  
参りますのでご協力をお願い致  
します。

### 東南部地区理事

黒田 茂夫

(11844)

私は地域、ご近所のお役に立  
てればと広報配布、放課後子ど  
も教室に就業しております。ま  
た総務委員会、地域副班長も経  
験させていただき、改めて高齢  
者の就業による生活充実、地域  
活性化の重要性、ボランティア  
活動の大切さなど多くの事を学  
ぶことができました。

この度、理事という大役を担  
う事になりその役割を果たせる  
か不安ではありますが、皆様と

一緒に誰もが日々安全で働き、  
お力が発揮でき、達成感が味わ  
えるよう微力ながら努めて参り  
たいと思います。ご指導、ご協  
力のほど宜しくお願い致します。

### 東部地区理事

廣永 寛

(10731)

2016年シルバー人材セン  
ターに入会し、放課後子ども教  
室、地域委員、ボランティア活  
動参加等、会員の皆様と一緒に  
楽しく活動してきました。理事  
選考委員の方から連絡があり、  
6月16日の定時社員総会で東  
部地区担当理事に選任され、臨  
時理事会にて、担当する常任委  
員会は、地域、安全管理、女性  
委員会です。

理事会と各委員会では、会員  
皆様の意向を伺い、会員皆様の  
安全第一、就業確保、会員増強、  
ボランティア活動参加推進等、  
誠意と情熱、協調性を持って、  
活動していきたいと思っております。  
会員皆様のご指導ご協力、ど  
うぞよろしくお願い申し上げます。

### 東部地区理事

杉浦 茂樹

(11726)

この度、東部地区から理事を  
務めさせて頂くことになりました。  
二年前に入会し同時に学校  
施設管理の仕事についております。

今回の大役をお受けすることに戸惑いはありますが、シルバー人材センターの設立趣旨である「生きがい、健康、社会奉仕、働く喜び」を念頭におき、これまでの経験を活かして微力ではありませんが、皆さんの代表として皆さんが元気に楽しく就業できる環境づくりに取り組んで参りたいと思っております。ご指導・ご協力のほどよろしくお願い致します。

## 新監事の

## ご挨拶



出居 宏

(8465)

この度、監事を拝命致しまし  
た出居です。微力ながら尽力致  
しますのでよろしくお願い申し  
上げます。

いままでもなく、監事の職責  
は会計監査（コンプライアンス  
に基づいた会計処理が成されて  
いるか）と業務監査（正常な姿  
で業務執行が成されているか）  
の二面から成り立ちます。議決  
機関である理事会が議題に基づ  
き議論して結論を出すこと、そ  
れを執行機関が実行することに

より初めて八王子市SC全体の  
機能が発揮されることになりま  
す。

決して「会して議せず、議し  
て決せず、決して行わず、行っ  
てその責をとらず」と云うこと  
の無きように、理事の皆さんが  
行うべき役割を発揮出来るよう  
に、また、執行機関でもある常  
務理事―事務局の「内部統制」  
の確立に向けて適進して参りま  
す。目的はあくまで「八王子市  
SCの持続する成長」です。

中島 正晴

(10661)

昨年4月、杉並区役所に一年  
間就労することになり、長距離  
通勤、長時間勤務であることか  
ら任期を一年残し理事を退任さ  
せていただきました。この度、  
前常務理事からのご推薦もあつ  
て、監事に就任させていただきました  
ことになりました。

私は、杉並区役所の元職員で、  
63歳になる年から三年間、区内  
各区分民センターを活動拠点とす  
る地元住民組織の事務局長を兼  
務していました。この組織は、  
活動経費を区役所からの支援で  
賄う非営利の団体で、小規模な  
がら、予算決算、補助金精算、  
総会運営といった仕事を、住民  
の方と一緒にやってきました。  
これまでの経験を活かすなど  
して、シルバー人材センターの  
監事としてお役にたきたいと  
思っております。

## 新常任委員会 担当役員紹介



### 総務委員会

- 委員長 浅原ユリ子 (中部)  
副委員長 黒田 茂夫 (東南部)  
委員 杉浦 茂樹 (東部)  
谷津 富高 (北部)  
二村 重和 (西部)  
内藤 国暁 (西南部)

### 業務委員会

- 委員長 杉浦 茂樹 (東部)  
副委員長 亀田 守 (筆耕班)  
委員 須崎 進 (中部)  
谷津 富高 (北部)  
二村 重和 (西部)  
設楽 和子 (西南部)  
小林 慶一 (東南部)

### 広報委員会

- 委員長 須崎 進 (中部)  
副委員長 内藤 国暁 (西南部)  
委員 国里比名枝 (北部)  
加藤 司 (西部)  
小林 慶一 (東南部)  
杉浦 茂樹 (東部)

### 地域委員会

- 委員長 加藤 司 (西部)  
副委員長 廣永 覚 (東部)  
委員 浅原ユリ子 (中部)  
国里比名枝 (北部)  
内藤 国暁 (西南部)  
黒田 茂夫 (東南部)

### 安全管理委員会

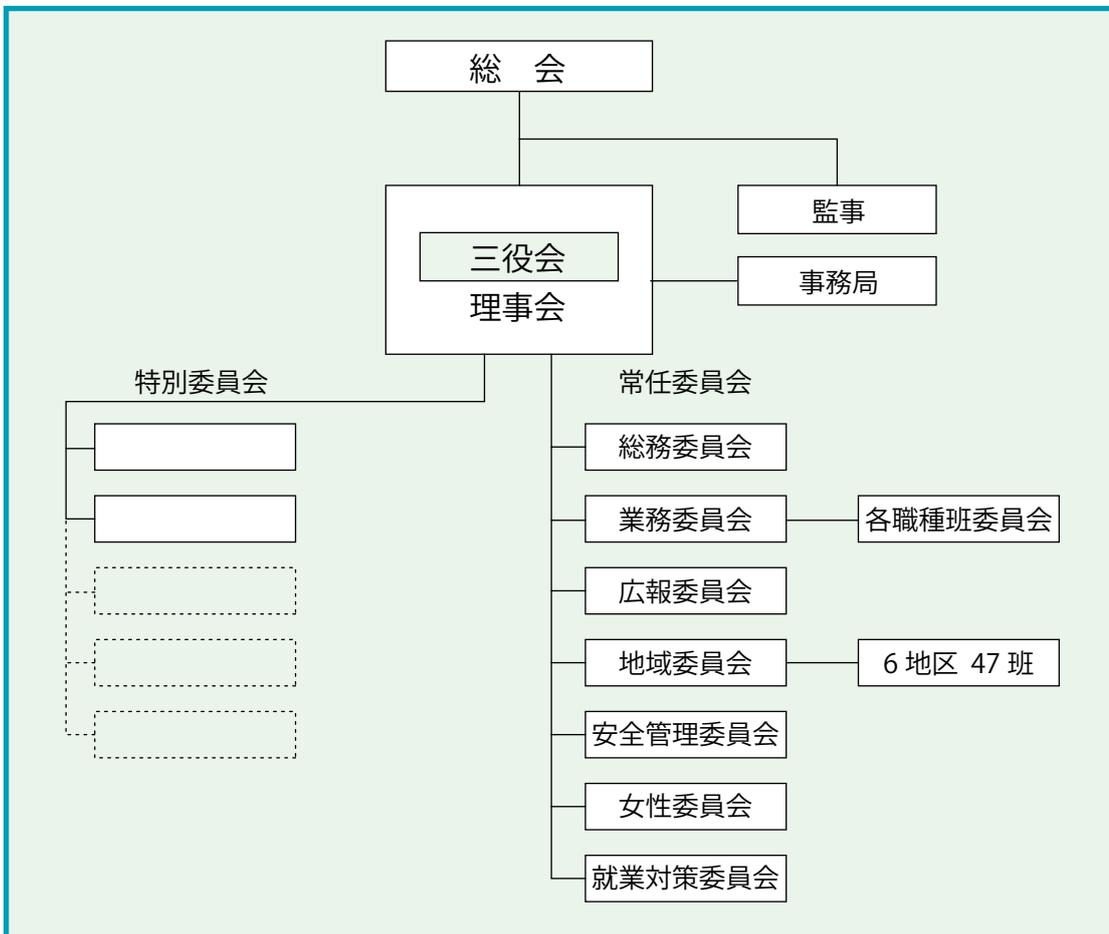
- 委員長 小林 慶一 (西南部)  
副委員長 廣永 覚 (東部)  
副委員長 佐藤 修敏 (除草班)  
委員 須崎 進 (中部)  
谷津 富高 (北部)  
加藤 司 (西部)  
設楽 和子 (西南部)

### 女性委員会



### 就業対策委員会

- 委員長 設楽 和子 (西南部)  
副委員長 浅原ユリ子 (中部)  
委員 黒田 茂夫 (東南部)  
国里比名枝 (北部)  
廣永 覚 (東部)  
委員長 伊比洋司 (常務理事)  
委員 各常任委員会の委員長



会員だより①

「我が地区、北部の紹介」

国里 比名枝

(10197)

我が地区は、昨年4月に5地区から6地区への編成により人数的には、一番小さな地区になりました。

名の通り八王子北東部に位置しておりますが、二大学、美術館、東京で唯一の道の駅を有し、四季を問わず楽しめる滝山城址公園や小宮公園もあり、多彩で豊かな地域です。

北八王子駅付近には、石川工業団地もあり、多くの会員さんが就業されて居ります。

この一年余は、コロナ禍の影響で思うような活動は、出来ておりませんが、理事、地区委員、班長、副班長及び会員が情報を共有し一丸となって、活気のある地区をめざして行きます。



「地域班の活動」

奥 久夫

(9392)

昨年、東部地区第一班の班長に任命されました。この班では約五十名の会員が登録されて居ります。昨年度より班長ならびに副班長で担当地区の全会員を訪問するという方針のもと、9月に挨拶に回りました。訪問先の玄関で短時間の立ち話程度ですが、いろんな人の意見など伺う事ができ大変勉強になりました。

東部地区では、昨年十月に班長会議を開催しただけで、コロナ禍の状況が改善されず、その後、一度も開催できていません。そんな状況で地域班の人のつながりや地域意識が希薄になっていきます。

シルバー人材センターの役割は高齢者に多様な雇用の機会と生きがいを得るための就業を与えるのを主な目的としています。ボランティアやサークル活動など社会への参画を通じて、生きがいを感じられるような機会の提供も大事な事だとも思います。コロナ禍のなか家に閉じこもり、鬱々と生活を送っている方も居るかもしれませんが、この禍が過ぎ去ったあとはボランティアやサークル活動に積極的に参加して生きる喜びを感じて戴ければと考えております。

「森林ボランティア」

野間 直紀

(11237)

渋谷区から八王子市(高尾)に引っ越してから十年になる。

六十五歳を過ぎて仕事が暇になったのを機にインターネットで『森林ボランティア』を調べてみた。以前から漠然と山の仕事に興味があり、TV番組等で森林ボランティアの仕事をしている人たちの晴れやかな顔が印象にのこっていた。

現在では、高尾山口に行く途中の両界橋を右に上がった所の『お日の森』という山とその他近くの森二ヶ所で月に五日ほど森林整備事業のボランティアをしている。

主たる仕事は台風で倒れた木や枯れた木の伐採、混んだ状態を改善し、森を明るくしたり、傷んだ林道を整備する仕事である。

他に椎茸の栽培もしている。森は季節の移ろいを直接感じることができ、森の中で食べる昼食は格別につまみ。



「筆を持ってみませんか」

坂根 淑江

(11299)

二〇一八年退職と同時にシルバーに入会、その後、職員の方の勧めですみれ会に参加して二年半が経ちました。

その間高尾山浄書、卒業証書筆耕に従事、貴重な時間を過ごさせて戴いております。

高尾山浄書では祈願への思い、卒業証書では巣立ち行く人と家族の思いに向き合いながら、真摯な筆づかいを心掛けておりますが、その志を支えて居ますが、その志を支えて居ますが一月に一回、二時間の練習です。

モットーの「正しく・早く美しく」を念頭に心を「無」にし、専心して手本を目で追う、とても大切な時間です。また、先生方の丁寧なご指導、先輩方の貴重なアドバイスを受ける事で、更なる向上心が生まれてきます。

一緒に筆を持って見ませんか。楽しいですよ。



会員だより②

「高尾山と多摩森林科学園」を経験して

を

荒井 悦子

(12150)

昨年の八王子の広報でシニアの求職の案内を見てTESSをかけた。

コロナの影響で説明会が遅れ7月頃になり、改めて登録しました。

【高尾山就業】

初めてうけた仕事は、「高尾山紅葉祭り」でした。トイレ掃除とトイレトペーパー補充ということでした。日程表が来てから数日後、経験のある人(先輩と呼んでいいのかと感じつつ)から仕事をするうえで必要な持ち物などの説明をうけました。仕事は難しくありませんでしたが、少し安心しました。不安と心配を感じながら、待ち合わせ場所に行き初日を迎えました。

仕事に対しての一日の流れと道具の使い方、時間の配分など仕事の内容は、考えていたよりは難しくないと感じました。

二十五年も介護福祉士で働いてきた私にとって、トイレの汚れなど何の抵抗もありませんでした。それよりもビックリした

のは、トイレの端にカップヌードル、ペットボトルその他、食べ物残渣。日本人はいつからこんなにマナーが悪くなったのか？自分自身を振り返り反省。従業員の人達もシニアだからか？優しく親切に接してくれ、何回か仕事に行くことができ気持ちよく働き終わることが出来ました。

【多摩森林科学園就業】

高尾山の経験もあり、仕事に対しては順調に進んだと思えた、山道は思ったほど大変ではなかった。山道を歩いていると、同じシニアの人達から「お疲れ様です。」声を掛けてくれ、なんとなく嬉しく感じられた。森林学園は、掃除用具が揃っていて働きやすかった。

二ヶ所とも一人でやるので、時間の配分など自身で計画出来るので、仕事がしやすかった。



コロナ禍の中、会員の皆様如何お過ごしですか？

ワクチン接種も始まって、まずはひと安心、でも油断禁物。まだまだマスクも手洗いも必要、忘れずに！

年末には、楽しい忘年会を期待して！

広報委員会よりお知らせ

現在、年二回発行している「生きがい八王子」の表紙及び挿絵用の写真を公募します。

内容は、八王子に関連がある物なら何でも、自然・建物・町中の風景など。

問合せは、広報委員会委員または事務局担当職員まで。

